

平成31年度

香川県立保健医療大学大学院
保健医療学研究科
博士後期課程 看護学専攻

学生募集要項

- 出願期間 平成31年1月4日(金)～1月11日(金)
- 試験期日 平成31年1月26日(土)



香川県立保健医療大学

The Graduate School of Kagawa Prefectural University of Health Sciences

目 次

I	募集人員	1
II	選抜区分	1
III	出願資格	1
IV	事前相談	2
V	出願資格審査	2
VI	出願手続	3
VII	入学願書等の記入要領	6
VIII	入学願書等の書類	7
IX	選抜方法等	8
X	合格発表	9
XI	入学手続等	10
XII	ホームページ	11
XIII	問い合わせ先	11

大学院保健医療学研究科

博士後期課程(看護学専攻)の概要	12
I 博士後期課程(看護学専攻)の教育研究理念	12
II アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー	12
III 博士後期課程(看護学専攻)の概要	13
1 専攻の名称及び構成	13
2 学位の名称	13
3 授業科目一覧	13
4 修了要件等	14
5 授業科目の概要	14

入学試験会場案内図	19
-----------	----

I 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
保健医療学研究科	看護学専攻	2人（社会人選抜を含む。）

II 選抜区分

「一般選抜」及び「社会人選抜」を行います。ただし、出願できるのはいずれか一方であり、出願後に選抜区分を変更することはできません。

III 出願資格

1 一般選抜

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当するものとします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び平成 31 年 3 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4) の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
 - ア 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本大学院研究科において、当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - イ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育の 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 3 月 31 日において 24 歳に達している者

※ 出願資格(8)により出願を希望する者は、出願前に個別の出願資格審査が必要です。(「V 出願資格審査」を参照してください。)

2 社会人選抜

社会人選抜の出願者は、「1 一般選抜の出願資格」のいずれかに該当し、医療・保健・福祉施設、教育機関、官公庁、企業等において3年以上の専門的な実務経験(通算可)を有する者(平成31年3月31日までに該当する見込みの者を含む。)

注 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

社会人の方が働きながら学べるよう、大学院設置基準第14条の規定により、必要に応じて、夜間、土曜その他特定の時間又は時期に授業・研究指導を行う途を設けています。

また、申し出により標準修業年限(3年)を超える一定期間の計画的な履修を認めることも可能としていますので、希望される方は、次の「IV 事前相談」における相談の際に、あわせて教員にご相談ください。

IV 事前相談

出願を希望する者は、全員、出願前に入学後の研究等について、教員と相談することが必要です。

希望する特別研究の専門領域と教員の選択に当たっては、研究領域に関連する専門科目「講義等の内容」(17～18ページ)を参照してください。

事前相談の申し込みは、平成30年12月17日(月)～12月28日(金)までに、香川県立保健医療大学事務局教務・学生担当(TEL 087-870-1212)まで連絡し、希望する教員と事前相談を行ってください。なお、この申し込みの受付時間は、午前9時から午後5時まで(土曜、日曜及び祝日を除く)とします。

また、次の「V 出願資格審査」を希望する者は、当該申請前まで(平成30年12月28日(金)まで)に事前相談をすませてください。

V 出願資格審査

一般選抜出願資格(8)(社会人選抜で一般選抜出願資格(8)に該当する者を含む)で出願を希望する者は、あらかじめ、出願資格の審査を行いますので、**2**の書類を封筒(封筒表面に「保健医療学研究科出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください)に入れ、「書留速達郵便」で郵送又は持参してください。

1 申請期間

平成30年12月25日(火)から12月28日(金)まで

- ・ 郵送する場合 12月28日(金)午後5時必着とします。
- ・ 持参する場合 受付時間は午前9時から午後5時までとします。
ただし、土曜及び日曜は受け付けません。

2 提出書類

- (1) 出願資格審査申請書（本学所定様式）
- (2) (1)の申請書に記載した過去10年間の主要(単著又は共著筆頭)の学術論文(全国学会誌等の専門誌)の中から、5編の学術論文。
- (3) 最終出身学校等の卒業（修了）又は卒業（修了）見込証明書
- (4) 最終出身学校等の成績証明書又は調査書等（出身学校等の長が作成し、厳封したもの）
- (5) 看護師、保健師、助産師の国家資格者としての実務経験を有する者は、その免許証の写し（A4サイズに縮小のこと）及び在職期間証明書（本学所定様式）
- (6) 返信用封筒（長形3号封筒（120mm×235mm）の表面に申請者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、返信用切手（392円(簡易書留料金含む。)）を貼付したもの）

※1 上記書類の作成に際しては、記入要領及び「VI-3 出願書類」の摘要欄を参照してください。

※2 申請書類受理後は、提出された書類は、理由のいかんを問わず返還しません。

※3 婚姻等による改姓により、現在の氏名と卒業証明書、免許証等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本を提出してください。

3 提出先

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当（TEL 087-870-1212）

4 審査結果の通知

出願資格の審査結果は、平成31年1月7日(月)に本人あてに郵送で通知します。

平成31年1月9日(水)までに届かない場合は、前記「3 提出先」に電話で照会してください。なお、認定された方は、所定の期間内に出願手続をしてください。

VI 出願手続

1 出願期間

平成31年1月4日(金)～1月11日(金)まで

- ・郵送する場合 1月11日(金)午後5時必着とします。
- ・持参する場合 受付時間は午前9時から午後5時までとします。
ただし、土曜、日曜及び祝日は受け付けません。

2 出願方法

志願者は、出願書類を一括して本学所定の出願書類提出用封筒に入れ、「書留速達郵便」で郵送又は持参してください。

3 出願書類

出 願 書 類	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
入学願書	◎	◎	(本学所定様式) 記入要領を参照して、必要事項を記入してください。
写真票・受験票	◎	◎	(本学所定様式) 記入要領を参照して、必要事項を記入し、縦4cm×横3cmの同じ写真(正面上半身無帽、背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの、カラー・白黒どちらでも可)の裏面に氏名を明記し、所定の欄(2か所)に貼付してください。
卒業・修了 (見込) 証明書	◎	◎	最終出身学校等の長が作成したものを提出してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
成績証明書	◎	◎	最終出身学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
修士の学位等 授与(見込) 証明書等	○	○	「Ⅲ 出願資格」の1-(2)で出願する者が提出してください。 学位授与機関が発行した授与(見込) 証明書を提出してください。
志願理由書	◎	◎	(本学所定様式) 本研究科への志望動機を記述してください。
修士論文要旨	○	○	修士論文がある場合は、修士論文の要旨を提出してください。 (A4判用紙に横書きで2,000字以内にまとめたもの)
修士学位取得後の 研究業績調書	○	○	修士の学位取得後、その成果をどのように公表してきたのか、どのような研究に発展させてきたのか等について記述して提出してください。 (A4判用紙1枚程度に横書きでまとめたもの)
研究計画案	◎	◎	研究計画の概要を提出してください。 (A4判用紙に横書きで1,200字程度にまとめたもの)
在職期間証明書	○	○	(本学所定様式) 「Ⅲ 出願資格」の1-(8)で出願しようとする者で看護師、保健師、助産師の免許を有しているもの又は社会人選抜で出願しようとする者が提出してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
承諾書	○	○	(本学所定様式) 在職のまま出願しようとする者は、所属長による承諾書を提出してください。

出 願 書 類	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
免許証の写し	○	○	社会人選抜で出願しようとする者又は「Ⅲ 出願資格」の1－(8)で出願しようとする者で看護師、保健師、助産師を有しているものが提出してください。 ※ 看護師、保健師、助産師の国家資格に係る免許証の写しをA4サイズに縮小してください。 ※ 上記のうち、「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
入学選考料	◎	◎	入学選考料は、30,000 円です。 30,000 円の<u>普通為替証書</u>を出願書類と併せて送付してください。 ※ 普通為替証書には何も記入しないでください。
証券送付書	◎	◎	(本学所定様式) 記入方法等は、本用紙を参照してください。
受験票等返送用封筒	◎	◎	(本学所定様式) 住所、氏名、郵便番号を記入し、切手 392 円分を貼付して提出してください。手続き完了後、受験票を返送します。
※1 ◎印は全員必須、○印は該当する者のみ提出する書類です。 ※2 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。それが困難な場合は、ご相談ください。 ※3 郵便料金の改定が行われた場合は、新料金の切手を貼付してください。 ※4 婚姻等による改姓により、現在の氏名と卒業証明書、免許証等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本を提出してください。ただし、「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。 ※5 日本国籍を有しない者は、入学に際して、別途提出いただく書類があります。			

4 出願先

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当 (TEL 087-870-1212)

5 出願上の注意

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理できませんので、十分注意してください。
- (2) 出願書類等に虚偽の記入をした者は、入学後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 出願書類及び入学選考料は、出願書類受理後、理由のいかんを問わず返還しません。
- (4) 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めませんので、注意してください。
- (5) 出願手続を完了した者には、受験票及び証券領収書を郵送します。
なお、平成 31 年 1 月 17 日（木）になっても受験票が届かない場合は、前記「4 出願先」に電話で照会してください。
- (6) 障がい等を有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、平成 30 年 12 月 28 日（金）までに、あらかじめ前記「4 出願先」に連絡し、相談してください。
- (7) 出願書類から取得した個人情報は、入学試験に係る資料としてのみ利用し、取得した個人情報第三者に提供することはありません。

VII 入学願書等の記入要領

◎ 共通事項

- 1 *印の欄には、記入しないこと。
- 2 *印の欄を除き、各書類の注意事項等にそって必要事項を記入し、又は該当項目に○をつけること。
- 3 記入に当たっては、黒色のペン又はボールペンを使用し、楷書ではっきりと記入すること。

○ 入学願書

- 1 「フリガナ」は必ず記入すること。
- 2 生年月日等は西暦で記入すること。
- 3 「出願資格」欄は、出身学校等の名称及びその卒業等年月を記入し、事前の出願資格審査で認定を受けた者は、その認定番号を記入すること。
- 4 看護師、保健師、助産師の免許を有している者は、「免許」欄に取得年月日及び免許番号を記入すること。
- 5 「現住所」及び「合格通知先」欄には、都道府県名から正確に記入し、アパート名、号室等も省略せずに記入するとともに、郵便番号を必ず記入すること。また、提出後に変更があった場合は、直ちに連絡すること。
なお、「合格通知先」が「現住所」と同じ場合は、「同上」と記入すること。
- 6 裏面の「履歴書」欄には、高等学校卒業後の履歴をすべて記入すること。
- 7 誤って記入した場合は、該当箇所を二重線で消し、その上に訂正印を押すこと。

○ 写真票・受験票

- 1 それぞれ所定の欄に縦4cm×横3cmの同一写真を貼付すること。
- 2 写真は、正面、上半身、無帽、背景なし、カラー・白黒のどちらでも可、出願前3か月以内に撮影したものであること。
- 3 写真の裏面に、氏名を明記しておくこと。
- 4 記入内容が、入学願書の記載内容と一致するよう確認すること。
- 5 その他、受験票裏面の注意事項を参照のこと。

※ 入学願書・写真票・受験票は切り離さないで提出すること。

○ 出願資格審査申請書

- 1 「フリガナ」は必ず記入すること。
- 2 生年月日等は西暦で記入すること。
- 3 「履歴事項」欄の「学歴」及び「実務経験(職歴)」は、高等学校卒業後の履歴をすべて記入すること。なお、欄が不足する場合は、別紙として添付すること。

また、看護師、保健師、助産師の免許を有している者は、「免許」欄に取得年月日及び免許番号を記入すること。

- 4 「現住所」及び「審査結果通知先」欄には、都道府県名から正確に記入し、アパート名、号室等も省略せずに記入するとともに、郵便番号を必ず記入すること。また、提出後に変更があった場合は、直ちに連絡すること。

なお、「審査結果通知先」が「現住所」と同じ場合は、「同上」と記入すること。

- 5 誤って記入した場合は、該当箇所を二重線で消し、その上に訂正印を押すこと。

上記の他、各書類に記載している注意事項に従って記入すること。

VIII 入学願書等の書類（別添封筒に在中）

1 出願書類

- (1) 入学願書・写真票・受験票
- (2) 志願理由書
- (3) 在職期間証明書
- (4) 承諾書
- (5) 証券送付書
- (6) 受験票等返送用封筒
- (7) 出願書類提出用封筒

2 出願資格審査書類

- (1) 出願資格審査申請書

Ⅸ 選抜方法等

入学者の選抜は、学力試験（専門科目、英語）及び面接の結果並びに出願書類等を総合して、総合得点で可否を判定します。

なお、総合得点が同点の場合は、専門科目の点数が高い者を優先します。

1 試験科目等

科目等	配点	備考
専門科目	200	専攻に関する専門的な問題
英 語	100	専攻に関する専門的な問題 ＊英和辞書1冊の持込可（電子辞書は不可）
面 接	100	個人面接

※ 社会人選抜については、英語の得点について、優遇措置を講じます。

2 試験日程（一般選抜・社会人選抜共通）

試 験 日	試験科目等	時 間
平成 31 年 1 月 26 日 (土)	受 験 者 集 合	9:00
	注意事項等連絡	9:00 ～ 9:10
	専 門 科 目	9:15 ～ 10:45
	英 語	11:00 ～ 12:00
	昼 食	12:00 ～ 12:50
	受 験 者 集 合	12:50
	面 接	13:00 ～

3 受験上の注意事項

- (1) 入学試験当日は、午前9時までに試験室に入り、受験票を机の上に置いて着席してください。
なお、受験票を忘れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (2) 集合時間に遅刻した場合は、学力試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長及び面接試験における遅刻は認めません。
なお、面接は受験者ごとに開始時間が異なりますので、注意してください。
また、学力試験を受験しなかった者は、面接を受けることはできません。
- (3) 試験会場では、監督者の指示に従ってください。
- (4) 机の上には、受験票、HB又はBの鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、時計(計時機能だけのもの)、英和辞書1冊(英語の試験のみ(電子辞書の持ち込みは不可))以外のものは置かないでください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン等は、他の受験生の迷惑になるので、電源を切ってカバンの中にしまっておいてください。
- (6) 昼食は、各自で準備してください。

4 試験会場

香川県立保健医療大学

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

TEL 087-870-1212

※1 試験会場は、19 ページの入学試験会場案内図を参照してください。

※2 試験会場の下見はできますが、建物内への立入りはできません。

※3 合否電報・電話の取扱い等の勧誘をする者があっても、**本学とは一切関係がありません。**

X 合格発表

1 発表日・発表方法

平成 31 年 2 月 7 日(木)午前 9 時に、香川県立保健医療大学 アプローチ広場掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には、文書で通知します。

また、本学のホームページ（<http://www.kagawa-puhs.ac.jp/>）上においても、合格者受験番号を掲載します(同日午前 9 時過ぎの予定)。

なお、ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格発表は、本学掲示板、合格通知書で行います。

2 追加合格

入学手続き者が入学定員に満たなかった場合には、追加合格を行うことがあります。

追加合格は、平成 31 年 2 月 15 日(金)午後 5 時以降、該当者あてに入学願書に記載された連絡先に電話で通知します。この電話連絡は、平成 31 年 2 月 18 日(月)までに行うよう配慮しますので、この期間は、入学願書の連絡先に所在する等、本人と直接連絡が取れるようにしておいてください。

なお、追加合格者の入学手続等については、追加合格通知時に指示します。

3 その他

(1) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

(2) 合否以外の受験に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。

(3) 香川県個人情報保護条例に基づく入学試験成績の簡易開示について

受験者本人の請求に基づき、次の要領により開示します。

・請求期間

平成 31 年 2 月 7 日(木)～平成 31 年 3 月 4 日(月)(土曜、日曜及び祝日を除く。)

・開示内容

科目別得点及び総合得点

・請求方法

受験者本人が、本学事務局窓口の本学の受験票を持参のうえ、請求してください。

(受付時間は、9:00～12:00 及び 13:00～17:00 です。)

XI 入学手続等

1 入学手続の期間

平成 31 年 2 月 14 日(木)～平成 31 年 2 月 15 日(金)の午後 5 時必着
直接持参の場合の受付時間は、午前 9 時～午後 5 時までとします。

2 手続場所

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当

TEL 087-870-1212

3 入学手続

- (1) 上記 2 の場所へ、4 の入学手続に要する提出書類等を一括し、書留速達扱いの郵便又は直接持参により提出してください。
- (2) 上記 1 の期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (3) 入学手続を行うのは、代理人でも差し支えありません。
- (4) **入学金は、納入後、理由のいかんを問わず返還しません。**
- (5) 詳細については、合格通知時に通知します。

4 提出書類等

- (1) 誓約書(本学所定様式)
- (2) 卒業(修了)証明書(卒業(修了)見込みで受験した者は、別途指示する日までに提出すること。)
- (3) 学位授与証明書(学位授与見込みで受験した者は、別途指示する日までに提出すること。)
- (4) 入学金
- (5) 縦 4 cm×横 3 cm の同じ写真 4 枚(正面上半身無帽、背景なし、最近 3 か月以内に撮影したもの、カラー、裏面に氏名を明記したもの)
- (6) 住民票(下記 5 —(1) の県内者に該当する者のみ)

5 入学金 (予定金額)

- (1) 県内者 197,400 円
- (2) 上記以外の者 366,600 円

※ 「県内者」とは、平成 30 年 4 月 1 日以前から引き続き香川県内に住所を有する者並びにその配偶者及び一親等の親族をいいます。

6 授業料 (予定金額)

- (1) 年額 535,800 円
- (2) 各年度に係る授業料は、前期及び後期の 2 学期に区分して納付するものとし、それぞれの学期において納付する額は、年額の 2 分の 1 に相当する額とします。
 - ① 前期納付期限 4 月末日 (267,900 円)
 - ② 後期納付期限 10 月末日 (267,900 円)
- (3) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

7 授業料減免制度

経済的理由その他やむを得ない事情により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認めた学生に対し、授業料の全部又は一部を免除する制度等があります。

8 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構による奨学金には、第一種奨学金(無利子)と第二種奨学金(有利子)の制度があります。

- ・ 第一種奨学金

特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者

貸与月額(平成30年度) 80,000 円、122,000 円のうち希望額を選択

- ・ 第二種奨学金

優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者

貸与月額(平成30年度) 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円のうち希望額を選択

※ 詳細については、独立行政法人日本学生支援機構ホームページ(<http://www.jasso.go.jp/>)を確認ください。

9 その他の必要経費等

入学後には、教科書、教材等に係る経費及び後援会費等が別途必要になります。

後援会費については次のとおりです。

- ・ 年会費 20,000 円

- ・ 教材用経費等 3年間分 40,000 円(予定)

- ・ 納付期限 4月末日(年会費は、2年次以降も必要です。)

なお、学生は傷害事故及び賠償事故等についての保険に加入しますが、当該保険料は後援会費の中から負担します。

10 その他

学生寮はありません。

XII ホームページ

大学案内や入試情報を掲載したホームページを開設しています。

URL <http://www.kagawa-puhs.ac.jp/>

XIII 問い合わせ先

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

TEL 087-870-1212

Fax 087-870-1202

I 看護学専攻博士後期課程の教育研究理念

大学院保健医療学研究科看護学専攻博士後期課程は、実践科学としての看護学に対する深い学識をもつ自律した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。これによって、地域の看護の質向上及び県民の健康と福祉に寄与する。

II 看護学専攻のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー

1 アドミッションポリシー

- (1) 専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち看護実践の向上と変革に貢献する 独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造力」を有している人
- (2) 地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち。研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人
- (3) 看護学の発展に貢献する意志をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人

2 カリキュラムポリシー

- (1) 博士後期課程における看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデル開発研究をめざし、「実践開発看護学領域」とする。
- (2) 教育課程は、研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目群で構成する
- (3) 「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置する
- (4) 授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言できるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする

3 ディプロマポリシー

看護学専攻博士後期では、3年以上在学し、専門共通科目(必修)6単位、専門科目(選択)2単位、演習科目(必修)2単位、特別研究科目(必修)6単位の合計16単位を修得する。かつ、必要な研究指導を計画的に受けた上で、博士論文に関する副論文1編を査読制度のある学術雑誌に、単著又は共著筆頭の原著論文、研究報告、総説のいずれかとして発表し、博士論文の審査及び最終試験に合格し、下記の能力を修得した学生に対し、博士(看護学)の学位を授与する。

- (1) 専門領域における独創的な研究を行い、新たな看護の知を創造する能力を有する
- (2) 科学的考察や議論を深めて、新たな看護の見解を論述する能力を有する
- (3) 自らの研究について、その真価を問うために社会に発信する能力を有する

Ⅲ 看護学専攻の概要

1 専攻の名称及び構成

研究科名	専攻名	領域名
保健医療学研究科	看護学専攻	実践開発看護学領域

2 学位の名称

博士(看護学)

3 授業科目一覧

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
専門共通科目	看護理論学	1 前	2				○		※講義 オムニバス
	看護発展論	1 前	2				○		※講義
	看護研究方法特論	1 前	2				○		※講義 オムニバス
	小計 (3 科目)	—	6	0	0	—			
専門科目	基盤看護科学特論	1 後		2			○		※講義 オムニバス
	地域在宅看護科学特論	1 後		2			○		※講義 オムニバス
	精神保健看護科学特論	1 後		2			○		※講義
	療養支援看護科学特論	1 後		2			○		※講義 オムニバス
	次世代育成看護科学特論	1 後		2			○		※講義 オムニバス
	小計 (5 科目)	—	0	10	0	—			—
	実践開発看護学特別演習	1 後	2				○		共同
演習科目	小計 (1 科目)	—	2	0	0	—			
特別研究科目	看護学特別研究	1～3 通	6				○		
	小計 (1 科目)	—	6	0	0	—			—
合計 (10 科目)		—	14	10	0	—			—

4 修了要件等

修了要件は、本大学院保健医療学研究科看護学専攻博士後期課程に3年以上在籍し、専門共通科目（必修）6単位、専門科目（選択）2単位、演習科目（必修）2単位、特別研究科目（必修）6単位の合計16単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。加えて、博士論文に関する副論文1編を、査読制度のある学術雑誌に単著又は共著筆頭の原著論文、研究報告、総説のいずれかとして発表すること（印刷中の論文については、その旨を記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）とする。これらの要件を全て満たす者に博士（看護学）の学位を授与する。

単位認定および論文審査にあたっては、以下の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて厳格かつ適切な評価を行う。

5 授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専門共通科目	看護理論学	自らの関心のある看護学領域の理論や概念を開発する能力を養うために、理論や概念を開発する意義、実践科学としての看護学の哲学的基盤、看護理論の成り立ちや構造、理論や概念を分析する方法について学修する。プレゼンテーションを基に、討議・検討しながら進め、以下の目標を達成する。 1. 実践科学としての看護学の哲学的基盤について探求し、説明する。 2. 看護理論の成り立ちや構造について理解し、看護理論を発展させる意義を説明する。 3. 概念分析、理論分析の方法について理解し、自分の研究課題に関する概念分析、理論分析をする。	特任教授 古川文子 非常勤講師 尾原喜美子
	看護学発展論	わが国の保健医療福祉及び看護の動向を踏まえ、看護政策の立案・提言及び実現・検証を政策形成過程として理解するとともに政策研究の方法論を修得する。この過程を通して、看護学発展を目指した政策研究を展開できる能力を獲得する。 看護政策の動向及び看護を取り巻く保健医療福祉と労働政策について概観する。政策活動に関する諸理論を学修し、実際の看護政策に関して策定の妥当性、実現の要因、影響検証等を討議し、看護政策研究過程としてまとめる。	教授 井伊久美子
	看護研究方法特論	既存の研究方法の理解及び看護学独自の的方法論開発にも関心を向けつつ、博士論文の作成に必要な研究方法の選択とその適用に不可欠な理論・技術の修得を目的とする。 具体的には、修士論文に対するクリティークを通して研究デザインを振り返り、研究の原点に立ち返る。研究の背景や概念の明確化の必要性認識の基、効果的な文献収集とそのまとめ、討論やプレゼンテーション等を通して、新知見を産出する研究プロセスを確認し、各自の関心課題に適用する方法論の理解と技術の選択を各自の専門分野の中に位置づけて検討する。	特任教授 古川文子 教授 國方弘子 教授 吉本知恵

科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専 門 科 目	実践 開 発 看 護 学 領 域	基盤看護科学特論	地域包括ケア推進に伴い、看護職の役割拡大と看護実践の場の多様化が進むなかで、新たな看護の人材育成および技術の創造・開発について探究する。看護専門職の能力開発及び技術開発に関する理論・概念を学際的に分析・考察し、また、看護現場における人材育成や技術開発に関する問題を抽出し、その問題に関連する国内外の文献クリティークを行う。看護専門職としてのエビデンスに基づく看護の発展に向けての開発課題を明確化し、研究テーマを導くとともに、課題解決に向けた研究方法を多角的に検討する。	教 授 平木民子 教 授 松村千鶴
		地域在宅看護科学特論	地域包括ケアシステム構築のなかで、在宅療養者を含めた地域で生活する人々の複雑で多様な健康課題に応える新たな看護サービス・看護ケアシステムに関連する理論・概念を学際的に探究・分析する。また、社会情勢や制度・政策の動向及び地域特性を考慮した看護を展開する上での今日的課題や問題を取り上げ、関連する国内外文献のクリティークを行い、研究課題を明確にする。研究課題の解決に向けた方法論を多角的に検討し、人々の健康生活の QOL 向上に寄与する創造的看護アプローチを展望する。	教 授 高嶋伸子 井伊久美子 教 授 片山陽子
		精神保健看護科学特論	近年、精神保健の健康保持・増進に対する社会のニーズは増加の一途にあり、また精神障害者の地域移行・定着が進められている。本授業では、精神保健に健康問題をもつ人と、その家族ならびに彼らを取り巻く人々の QOL を高めるための精神保健看護実践を推進する理論と方法、及びエビデンスに基づく精神保健看護実践方法を国内外の文献を通して学際的に探求し、その過程において看護哲学をも追及する。さらに精神保健看護に関する今日的な国内外の研究成果の分析から課題を抽出するとともに、新たな精神保健看護実践に関する知識や看護実践モデルの創出に向けて展望する。	教 授 國方弘子
		療養支援看護科学特論	いかなる療養の場においても、療養上の看護支援を必要とする成人期や老年期の人々の支援に関する理論・概念を学際的に探究・分析する。また、療養上の看護支援を必要とする成人期や老年期の人々の看護実践上の課題を取り上げ、その課題に関連する文献クリティークを行い、QOL を高めることを志向した新たな看護実践方法の開発課題を明確化し研究テーマを導くとともに、研究課題の開発に向けた方法論の検討を行い新たな看護実践方法の創出に向けて展望する。	特任教授 古川文字 教 授 吉本知恵

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専門科目	実践開発看護学領域	次世代育成看護科学特論	生涯を通じた女性及び母子とその家族の健康生活支援のために、性と生殖に関連した女性及び母子とその家族の看護、子育て支援に関する理論・概念を学際的に探究・分析する。また、ライフサイクル各期における女性及び母子とその家族の健康問題や子育て支援に関する課題を取り上げ、その課題に関連する文献クリティークを行い、新たな看護実践方法の開発課題を明確化し研究テーマを導くとともに、研究課題の開発に向けた方法論の検討を行い独創的な看護実践方法の創出に向けて展望する。	教授 松村恵子 教授 舟越和代
	演習科目	実践開発看護学特別演習	看護実践に役立つ新たなモデルの創出・開発に向けて、研究課題に関する文献検討ならびに課題の検討、保健医療及び看護の制度・政策との関連、課題解決のための方法論についてプレゼンテーションを行い、ピアレビューを受ける。研究の意義について、看護学及び看護実践の発展への重要性和妥当性、独創性と新規性、実践的有用性、地域や組織の看護実践及び看護政策への波及効果の検討の点から明確にする。さらに博士論文としての研究目標を明確にして研究方法の妥当性と実現可能性についても検討する。他の特論を選択している学生及び当該学生の研究指導教員を含めた授業担当教員全員を対象にプレゼンテーションを行い、発展的な討論を通して高度な創造・開発能力を涵養する。 ゼミナール形式で、学生が研究の進捗状況や課題をプレゼンテーションし、他の特論を選択している学生及び当該学生の研究指導教員を含めた授業担当教員全員と討論しながら研究課題を修正し、完成度の高い研究計画書の作成を目指す。そのプロセスにおいて、企画構成力、説明説得力、表現力、発言力等が発揮できるように取り組む。 当該学生の研究指導教員は、研究課題に関する文献検討ならびに課題の検討、課題解決のための方法論の指導をする役割を持つ。授業担当教員は、より完成度が高い研究計画書の作成ができ学生が授業目標を達成できるように、研究の実践的有用性と実現可能性、独創性と新規性等の観点から本授業において質問やアドバイスを発展的に行う。	教授 國方弘子 教授 松村恵子 特任教授 古川文子 教授 舟越和代 教授 野口純子 教授 吉本知恵 教授 高嶋伸子 教授 井伊久美子 教授 平木民子 教授 片山陽子 教授 松村千鶴 准教授 辻よしみ

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
特 別 研 究 科 目		(高嶋 伸子) <地域在宅看護科学特論> 地域で暮らすあらゆる健康レベルの人や地域を健康で暮らしやすい場にするための課題を取り上げ、保健師機能に関する研究、健康増進計画策定・推進に関する研究指導を行う。 ●主な研究課題 (1) 健康増進計画策定・推進に関する研究 (2) 保健師機能に関する研究 (古川 文子) <療養支援看護科学特論> 循環器疾患等をもつ療養上の看護支援を必要とする人々の看護実践上の課題を取り上げ、睡眠・休息支援の方法に関する研究指導を行う。 ●主な研究課題 (1) 循環器障害の第1次、2次、3次予防に関する研究 (2) 成人患者及び高齢者の自力寝返り支援に関する研究 (舟越 和代) <次世代育成看護科学特論> 子育て支援に関する課題を取り上げ、障がい児とその家族の看護に関する研究ならびに子どもの健康行動と認識に関する研究指導を行う。 ●主な研究課題 (1) 障がい児とその家族の看護に関する研究 (2) 子どもの健康行動と認識に関する研究 (野口 純子) <次世代育成看護科学特論> 性と生殖に関連したライフサイクル各期における女性の健康問題や子育て支援に関する課題を取り上げ、助産ケアの効果に関する研究、ならびに超音波検査と妊婦の健康生活支援に関する研究指導を行う。 ●主な研究課題 (1) 助産ケアの効果に関する研究 (2) 超音波検査と妊婦の健康生活支援に関する研究 (吉本 知恵) <療養支援看護科学特論> 高齢者の療養上の看護支援上の課題を取り上げ、病院からの移行を支援する研究や認知症高齢者の支援に関する研究指導を行う。 ●主な研究課題 (1) 高齢者の病院からの移行を支援する看護に関する研究 (2) 高齢者理解の方略に関する研究	

この封筒には、次の出願書類等が入っています。

**大学院保健医療学研究科博士後期課程(看護学専攻)
学生募集要項**

- ◎ 入学願書・写真票・受験票
- ◎ 証券送付書
- ◎ 志願理由書
- ◎ 在職期間証明書
- ◎ 承諾書
- ◎ 出願資格審査申請書
- ◎ 受験票等返送用封筒
- ◎ 出願書類提出用封筒

平成 31 年度香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究科（博士後期課程）

入 学 願 書

受験番号	*
受験区分	一般 社会人

(フリガナ) 氏名	姓	名	性別	1 男 2 女	
生年月日	西暦	年	月	日生	
志願科目	看護学専攻		臨床検査学専攻		
	☐ 基盤看護科学特論 ☐ 地域在宅看護科学特論 ☐ 精神保健看護科学特論 ☐ 療養支援看護科学特論 ☐ 次世代育成看護科学特論		☐ 病原因子解析検査技術論 ☐ 病理病態検査技術論 ☐ 神経生理機能検査技術論 ☐ 遺伝子検査技術論		
出願資格	(1) 大学院		大学大学院 研究科		西暦 年 月 卒業（修了、授与） 卒業（修了、授与）見込み
	(2) 大学		大学 学部 学科		
	(3) 専修学校		学校		
	(4) 各種学校		学校		
	(5) その他				
			出願資格審査 認 定 番 号		
免 許	☐ 看 護 師	年 月 日	取得	(免許番号)	
	☐ 保 健 師	年 月 日	取得	(免許番号)	
	☐ 助 産 師	年 月 日	取得	(免許番号)	
	☐ 臨床検査技師	年 月 日	取得	(免許番号)	
	☐ 薬 剤 師	年 月 日	取得	(免許番号)	
	☐ その他()	年 月 日	取得	(免許番号)	
連 絡 先	現住所	フリガナ			
		住 所	〒□□□□ー□□□□□		
		電 話	() ー 携帯		
	合 格 通知先	フリガナ			
		住 所	〒□□□□ー□□□□□		
		電 話	() ー 携帯		

切り離さないでください。

香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科入学試験		
平成 31 年度 写真票		
受験番号	*	
フリガナ		男・女
氏 名		
写 真 縦 4cm×横 3 cm 正面上半身 無帽・無背景 3 か月以内に 撮影したもの		

切り離さないでください。

香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科入学試験		
平成 31 年度 受験票		
受験番号	*	
フリガナ		男・女
氏 名		
写 真 縦 4cm×横 3 cm 正面上半身 無帽・無背景 3 か月以内に 撮影したもの		

＜注意事項及び時間割＞

- 1 この受験票は、返送された後大切に保管し、受験の際必ず携帯すること。
- 2 試験当日は、午前9時までには試験室に入って着席すること。
- 3 学力試験については、試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間の延長及び面接試験における遅刻は認めない。
- 4 試験中は、この受験票を常に机の上に置くこと。
- 5 4のほか、答案作成に必要なHB又はBの鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・時計（計時機能だけのもの）・英和辞書1冊（英語の試験のみ（電子辞書の持ち込みは不可））以外は机の上に置かないこと。
- 6 試験中は、携帯電話、スマートフォン等の電源を切っておくこと。
- 7 昼食は、各自で準備すること。
- 8 その他、受験に際しては、監督者の指示に従うこと。

試 験 日	試験科目	時 間 割
1月26日(土)	専門科目	9:15～10:45
	英 語	11:00～12:00
	面 接	13:00～

電話 087-870-1212

學歷

職 歷

[illegible]

受験番号*

証券送付書

領収金額：30,000 円（証券納付）

平成 30 年度歳入 一般会計

納付目的：平成 31 年度香川県立保健医療大学入学選考料

証券の種類：普通為替証書

切
り
取
り
線

記号番号

納入者	住所	
	氏名	

(注) 太枠線内のみ記入してください。
記号番号欄にはゆうちょ銀行が発行した普通為替
証書の記号番号を記入してください。

切り取り線

[記入上の注意事項]

- 必要事項を記入の上、普通為替証書とともに出願書類に添えて送付してください。
普通為替証書には何も記入せず、ゆうちょ銀行が発行したままの状態で提出してください。
- 受験番号※欄は記入しないでください。
- 太枠線の「記号番号」の欄には、普通為替証書の記号番号を記入してください。
- 「納入者」の欄の太枠線部分には、志願者本人の住所・氏名を記入してください。

平成 31 年度香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究科（博士後期課程）

志 願 理 由 書

氏 名	
受験番号	*

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

在 職 期 間 証 明 書

整理番号	*
------	---

香川県立保健医療大学長 様

施 設 名

施設の長(代表者)の氏名 印

所 在 地

次の者について、記載のとおり実務者として在職している（又は在職していた）ことを証明します。

記

フリガナ 1 氏 名	
2 在職期間	年 月 ～ 年 月
3 職 種	
4 勤務形態	① 常 勤 ② 非常勤（1 日当たり 時間、 週 日勤務）

（注 1）ここでの在職期間は、看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、薬剤師等の資格による実務者としての勤務期間をいいます。

（注 2）勤務形態については、常勤又は非常勤のどちらかに○をつけ、非常勤の場合は、（ ）内も記入してください。

（注 3）複数の施設からの証明が必要な場合は、あらかじめこの用紙をコピーして使用してください。

承 諾 書

香川県立保健医療大学長 様

施設名

施設の長（代表者）の氏名

印

所在地

次の者について、香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究科博士後期課程に出願することに承諾します。

記

フリガナ 1 氏 名	
2 職 種	

平成31年度香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究科（博士後期課程）

出 願 資 格 審 査 申 請 書

整理番号	*
申請区分	一般 社会人

(フリガナ) 氏 名	姓	名	性 別	□ 男 □ 女	
生年月日	年 月 日生				
志願科目	看護学専攻		臨床検査学専攻		
	☐ 基盤看護科学特論 ☐ 地域在宅看護科学特論 ☐ 精神保健看護科学特論 ☐ 療養支援看護科学特論 ☐ 次世代育成看護科学特論		☐ 病原因子解析検査技術論 ☐ 病理病態検査技術論 ☐ 神経生理機能検査技術論 ☐ 遺伝子検査技術論		
履 歴 事 項	学 歴	年 月～ 年 月	高等学校		
		年 月～ 年 月			
		年 月～ 年 月			
		年 月～ 年 月			
	実務経験 (職歴)	期 間	勤務先・所属	具体的な職名とその職務内容	
		年 月～ 年 月			
		年 月～ 年 月			
		年 月～ 年 月			
		年 月～ 年 月			
	免 許	☐ 看 護 師	年 月 日 取得	(免許番号)	
		☐ 保 健 師	年 月 日 取得	(免許番号)	
		☐ 助 産 師	年 月 日 取得	(免許番号)	
		☐ 臨床検査技師	年 月 日 取得	(免許番号)	
		☐ 薬 剤 師	年 月 日 取得	(免許番号)	
☐ その他()		年 月 日 取得	(免許番号)		

(裏面に続く)

(裏面)

過 去 10 年 間 の 研 究 業 績 に 関 す る 事 項				
学術論文の名称	単著、共著 筆頭の別	発行年月	専門誌、学会誌 等の名称	概 要
連 絡 先	現住所	フリガナ		
		住 所	〒□□□□—□□□□	
		電 話	() —	
	審 査 結 果 通知先	フリガナ		
		住 所	〒□□□□—□□□□	
		電 話	() —	

切手392円分
を貼付する
こと。

--	--	--	--	--	--	--

(氏
名)

(住
所)

(受験票在中)

簡易書留

様

(返送用封筒)

香川県立保健医療大学

〒761-0123
香川県高松市牟礼町原281番地1
TEL 087-870-1212

受験 番号	※
----------	---

※記入しないでください。

書留速達相
当額の切手
を貼付する
こと。

7 6 1 - 0 1 2 3

香川県高松市牟礼町原281番地1

香川県立保健医療大学事務局

教務・学生担当 行

書留

速達

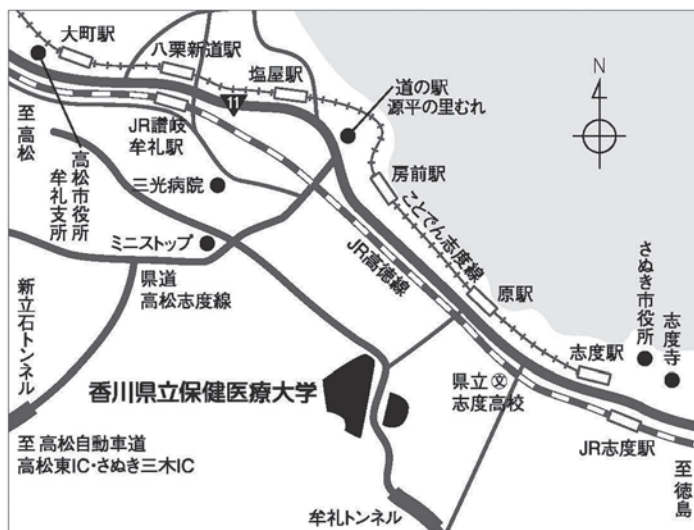
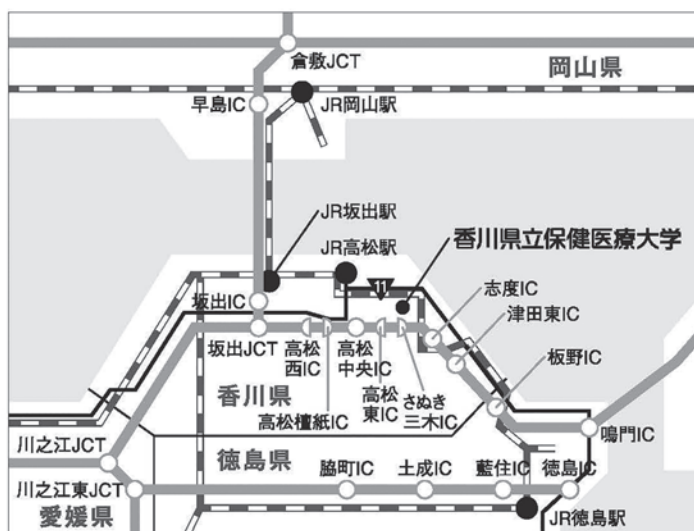
大学院入学願書等在中

出 願 者	住 所	TEL () - -
	フリガナ	
	氏 名	

**保健医療学研究科博士後期課程（看護学専攻）
入学試験出願書類等チェック票**

出願書類等は、下表のチェック欄でチェックのうえ、「書留速達郵便」で郵送または、「直接持参」してください。 なお、書類等は、1 から14の順に重ねてください。		
書 類 等		チェック欄
1	入学願書・写真票・受験票（切り離さない）	
2	入学選考科（次の2点を同封） ・ 30,000円の普通為替証書 ・ 証券送付書	
3	卒業・修了（見込）証明書	
4	成績証明書（厳封したもの）	
5	修士の学位等授与（見込）証明書等	
6	志願理由書	
7	在職期間証明書	
8	免許証の写し（A4サイズに縮小したもの）	
9	修士論文要旨	
10	修士学位取得後の研究業績調書	
11	研究計画案	
12	承諾書	
13	受験票等返送用封筒（392円分の切手を貼付すること）	
14	戸籍抄本	
※	上記のうち3、4、7、8及び14については、事前に出願資格審査で提出した場合は提出不要です。 全員必須の書類、該当する者のみ提出いただく書類がありますので、募集要項の4、5ページの「3 出願書類」で確認してください。	

試験会場案内図

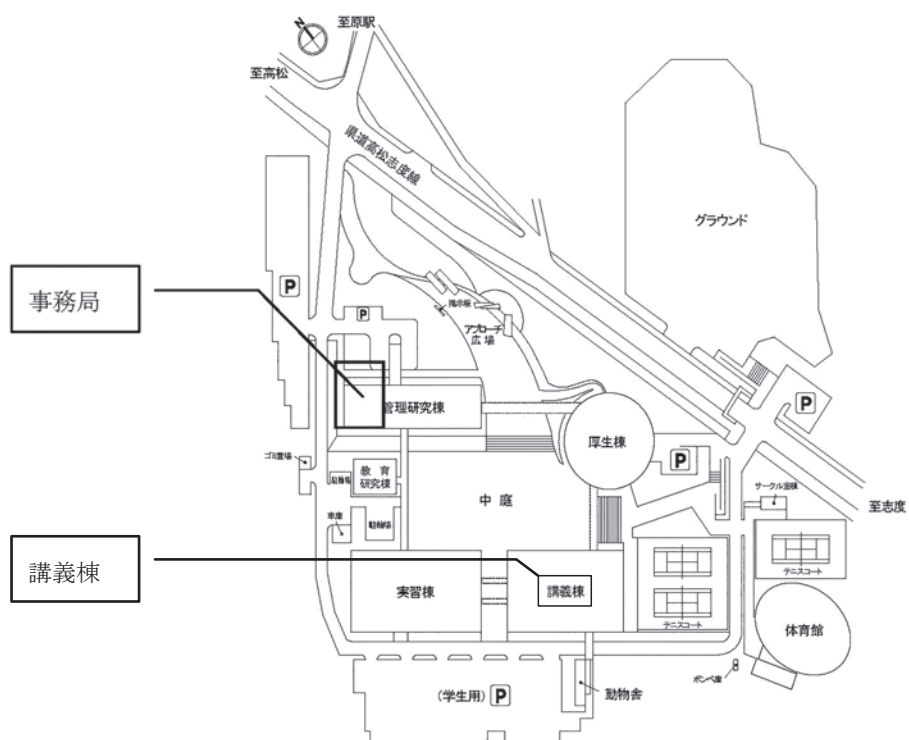


■ 西方面から

高松から 国道11号 車で30分
 ことடன்志度線原駅下車 徒歩10分

■ 東方面から

JR高徳線 志度駅から 車で5分





香川県立保健医療大学

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原281番地1

TEL 087-870-1212